

神奈川県海老名市

国内実績のある品質の高い計測技術やサービスで途上国への進出を目指す

同社は、岩盤の変動、コンクリート内部のひずみ・内部応力、工事域近傍の既設構造物の沈下・傾斜等、さまざまな挙動を検知するために用いるセンサーのメーカーである。これらのセンサーは、ダム・トンネル・橋や超高層ビル等の大型構造物をつくる際に、施工中の安全と完成後の安定を確保するために用いられる。横浜ベイブリッジ、ランドマークタワーなど日本を代表する構造物にも使用された。東京や福岡、韓国にも拠点がある。

●所在地 神奈川県海老名市東柏ヶ谷5-15-18

●設立 1976年

●電話/FAX 046-233-7744/046-233-9311

●資本金 8,000万円

●URL <http://www.elmes.co.jp/>

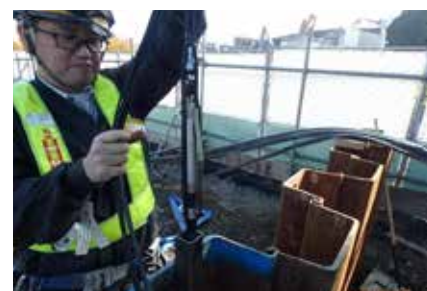
●従業員数 62人

●代表者 代表取締役社長 宮川 勝洋



品質の高い様々な計測器・技術・サービスを提供

同社は大規模構造物や基礎地盤を施工中に正確に測定・分析し、崩壊事故等が発生する危険性を把握・共有する「計測施工」の計測器とサービスを提供している。自社で幅広い種類の計測器を全て生産しており、現場の状況に応じて素早い改良を行っている。また独自技術で特許取得した製品も多く、提供できる様々な種類の計測器の質の高さにおいて、高く評価されている。東日本大震災からの復興においては、多数の道路工事やトンネル工事等、幅広い種類のインフラ整備工事に、同社の技術・サービスが活用されている。



計測器が使われる現場の写真

計測器開発から現場での計測まで、一貫したサービスを提供

計測器の開発・製造・販売だけでなく、実際の計測作業提供サービスもできる点は他社にない特徴である。現場ニーズに合わせた計測器の開発・製造から、当該機材を利用した計測までの業務をパッケージ化することで、ユーザー側に利用しやすく、かつ安価にサービスを提供する。社長の強いイニシアティブのもと、①顧客対応を積極的に行い顧客ニーズの把握の実施、②長年蓄積した高度な技術力を駆使しニーズに極力沿った製品の開発やサービスの提供、の両面を重視した経営が行われている。



計測作業提供サービス例

途上国の発展を支えるインフラ整備への貢献

韓国で土木設計業務を受注した実績を有する他、現在、ベトナムへの海外展開を目指した準備に取り組んでいる。ベトナムにおけるインフラ整備の概況や施工上の問題点、計測施工にかかるニーズについて把握したうえで、2019年よりJICAの支援スキーム（中小企業・SDGsビジネス支援事業、基礎調査）を活用し、現地調査等により海外展開準備に必要な詳細情報の収集を進めている。現在、成功確度の高いベトナムへの進出を検討している。



韓国での土木業務事例の様子